

川越市における重層的支援体制整備事業

1. 自治体の概要(R3. 8. 1現在)

- 人口 → 353,619人
- 世帯数 → 163,823世帯
- 面積 → 109,13km²
- 高齢化率 → 26.93%
- その他 → 平成15年県内最初の中核市へ。令和4年(2022)年に市制100周年

2. 重層的支援体制整備事業に取り組んだ背景・課題や取組の理念

■取り組んだ背景

本市においては、地域共生社会の実現に向け、地域福祉計画、障害者福祉計画、高齢者保健福祉計画、子ども・子育て支援事業計画等のそれぞれの分野ごとに施策を定めて推進してきた。社会福祉法の改正や多様化するニーズを踏まえ、これらを、高齢、障害、子ども、生活困窮等の福祉分野に限らず、保健、医療、住居、就労、教育を含めた地域生活課題を解決するため、本事業に取り組んだ。

■課題と目標

・相談支援体制の強化

複雑化・複合化した課題や、制度の狭間の課題を抱える個人・世帯に対する支援が、担当ケースワーカー等のスキルに依存しがちである。

⇒包括的かつ組織的に対応できる体制を構築する。

・地域づくりの効果的・効率的な推進

高齢・障害・子育て・生活困窮の分野ごと、及び社会福祉協議会並びに地域の活動者それぞれが実施している。

⇒要支援者の特性に応じた組み合わせや連携により、効果的かつ効率的な地域づくりを支援する。

・相談支援と地域づくりの一体化

高齢・障害・子育て・生活困窮で実施している相談支援と各制度や社会福祉協議会の取り組みとして実施している地域づくり事業がそれぞれで動いている。

⇒相談支援と地域づくりを結び付け、様々な課題を抱える人に合った活躍の場や居場所を提供する。

川越市における重層的支援体制整備事業

3. 主要な取組事項

■「相談支援」に関する体制・取組の内容

・福祉総合相談窓口の機能強化

福祉相談センター、障害者総合相談支援センター、子育て世代包括支援センター、自立相談支援センターの4センターからなる『福祉総合相談窓口』を開設し、各分野の専門職の相談と連携によるワンストップ(断らない)相談窓口を実施している。また、重層的支援体制整備事業の中核を担う司令塔役として、相談支援経験のある社会福祉士又は保健師を配置している。

■「参加支援」「地域づくり支援」に関する取組の内容

・地区別福祉プランの推進

地域の福祉課題の改善・解決を図るため、地区社会福祉協議会(地区社協)が中心となって協議・検討を行い、地区別福祉プランを策定した。同プランに基づき、地域住民、社会福祉協議会等の関係機関、行政との協働による地域資源の開発、地域づくりを実施する。

川越市における重層的支援体制整備事業



